

GREEN Rotary-Club



2011-2012年度 テーマ

国際ロータリー

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

R.I.会長 カルヤン・バネルジー

地区方針

「心機一転」

R.I.2720 地区 ガバナー 本田 光廣

熊本グリーンR.C.

「力を合わせよう」

熊本グリーンR.C. 会長 江上 泰弘

■ 例会日：毎週月曜日 18:30~19:30

■ 例会場：熊本市城東町4-2

熊本ホテルキャッスル

TEL096-326-3311

■ 創立：平成元年2月22日

■ 会長：江上 泰弘

■ 幹事：松山 優喜

■ 会報担当：河野 景治

■ 事務所：熊本市城東町4-2

熊本ホテルキャッスル内

TEL096-354-4521

FAX096-354-4053

E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2012年4月9日】

第1041回

2011-2012年度 第35回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

・熊本グリーンRCソング「友と語ろう」

2. 食事と交歓

来訪者の紹介

■ 熊本市域RC

熊本城東RC 東 秀優 君

■ ゲスト

グリーン男性合唱団 元講師 福嶋由記 さん

■ 卓話者

広安愛児園 元講師 牧 朋美 さん

現講師 板橋奈央 さん



友情の握手

会長スピーチ

(江上 泰弘 会長)

今晚は。

数日前に 裏千家15代家元の千玄室さんの書き物をみました。

千玄室さんは、2004年の大阪で開催されたロータリーの世界大会の実行委員長を務められた方です。「ありがとうございます」と言う言葉について書かれておりました。

有り難いと言う言葉は、日常よく使うが 有り難いとは、有ることが難しい事で易しい事ではない。この言葉を簡単に使うならば 有り易いになってしまいます。難しいと言う言葉を用いる時は、心の底から有り難いと言わねばなりませんと書かれていました。

私も小さい頃から母親に何事にも感謝してと言われておりましたが、ありがたいの言葉を発することで 感謝を表現できると思っていたような気がしました。

幹事報告

(松山 優喜 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2012年~13年度「RI指名委員会委員決定のお知らせ」が本田ガバナーより届いております。

指名委員会委員

玉ノ井 博明(たまのい ひろあき)パストガバナー

指名委員会補欠委員

山崎 勝(やまさき まさる)パストガバナー

■ 例会変更・取止め

例会変更

● 熊本北RC

4月12日(木)の例会は、観桜会の為、4月15日(日)17:00より水前寺「泉里」にて行います。

● 熊本グリーンRC

4月16日(月)の例会は、熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会の為、4月19日(木)18:30よりホテルキャッスルにて行います。

● 熊本西RC

4月24日(火)の例会は、例会並びにお花見会の為、同日18:30より料亭「すざき」にて行います。

● 熊本東RC

4月24日(火)の例会は、藤城清治の世界展見学会の為、同日12:30より熊本県立美術館本館にて行います。

卓話
予定

【4月】 4月 卓話スケジュール

19日(木) 熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会 (於:ホテルキャッスル 18:30~)

※ 4/16(月)→4/19(木)例会変更 ※20:00位迄例会延長・その後「もっとも」で懇親会

23日 「地区協議会」報告

30日 昭和の日(振り替え休日) ※定款第6条第1条に基づき例会取り止め

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

例会取止め

下記の例会は定款第6条第1節に基づき取止めます。

- 熊本東RC 5月1日(火)の例会
- 熊本東南RC 5月2日(水)の例会

慶 事

★4月誕生祝★

葉 美代子 夫人 S14. 4.17

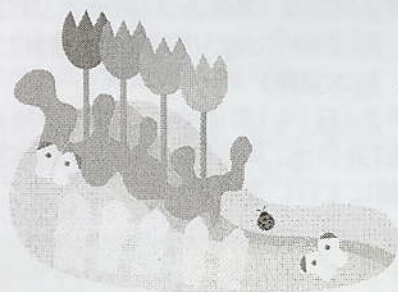


Happy Birthday!

出 席 報 告

田中 純司 クラブ管理運営委員

	会 員 総 数	26名	出席率
4月9日	出席免除会員数	2名	58.33%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	14名	
1月31日	前回の出席会員数	11名	84.00%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	21名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
3/15 熊本北RC 趙 君			
3/29 熊本グリーンローターアクト 山下(隆) 君			
4/2 熊本城東RC 中島 君、石浦 君			



委 員 会 報 告

① ロータリーの友4月の内容紹介

報告者: クラブ会報委員長 河島 一夫 会員

② 4月の卓話スケジュール紹介

報告者:

クラブ管理運営委員長 山下 隆生 会員

* 欄外参照

その他

● ヴェルディオペラの名作「リゴレット」紹介

報告者: 福嶋由記さん

福嶋由記さん初主演のオペラ「リゴレット」の紹介

日時: 4月21日(土) 18:00~開演

於: 熊本県立劇場

お時間がある方は宜しくお願い致します。



4月 卓話スケジュール ～ 雑誌月間 ～

2日 「観桜例会」

(於: 水前寺公園「泉里」)

※ 例会場所変更

9日 「広安愛児園学習支援活動報告」

講師: 牧 朋美さん・板橋奈央さん

熊本グリーンRAC: 坂口博美会長

19日(木) 熊本北RC・熊本グリーンRC合同例会

(於: ホテルキャッスル 18:30~)

※ 4/16(月)→4/19(木) 例会変更

※ 20:00位迄例会延長・その後「懇親会」あり

23日 「地区協議会」報告

※ 「地区協議会」出席者は報告のご準備を!

30日 昭和の日(振り替え休日)

※ 定款第6条第1条に基づき例会取り止め

スマイル 栗山 義則 会員

●江上 泰弘 君・松山 優喜 君

「先週は満開の桜の元での観桜会でした。とっても楽しい時間を過ごせました。お世話頂きました皆様ありがとうございました。」

●山下 佳介 君

①「先週は子供の卒業旅行を兼ねてソウルに行ってきました。子供は初海外で喜んでいました。」

②「今日は18回目の結婚記念日という事で早退致します。お許し下さい。」

●河島 一夫 君

「今、山下隆生さんをお願いして、裏の家の屋根替えをしていますが、古い瓦に「甲斐田 特製瓦」とありました。それで、山下隆生さんと甲斐田君の事を話して別れたら、甲斐田 君から偶然電話がありました。勤めていた所も倒産して今求職中との事でした。スマイルにもならないスマイルです。」

●河野 景治 君、葉 高源 君、廣坂 彰雄 君、栗山 義則 君

「当クラブへのメーキャップ来訪者の東秀優さん、合唱団講師の福嶋由記さん、広安愛児園講師の牧 朋美さんと板橋奈央さんを心から歓迎致します。」

3. 例会プログラム

紹介者 上田 観一創立20周年時会長



卓話者

広安愛児園 元講師 牧 朋美さん(右)
現講師 板橋奈央さん(左)



演 題

創立20周年記念事業

「広安愛児園学習支援の3年間の記録」

○第1年次(2009年4月～2010年3月)

授業について

3月は木曜日に週1回の学習を行った。4月、新学期が始まってからは、毎週月曜と木曜の週2回学習指導を行う。40分授業、10分休憩、40分授業というのを大体の目安に、それぞれが担当科目について学習指導を行った。数学・英語を初めとし、6月からは、社会・理科も指導に追加した。夏休みは、学校で出された宿題を中心に授業を行った。9月に入ると、園の事情などで、生徒が全員揃う日が少なくなったので、個人の進度別の授業を開始する。生徒間での点数の差が開き始めたことへの対処を行った。また、テスト対策の仕方や、重要性を、1年間を通して教え、定期テストの点数向上を目標に授業を行った。

生徒の様子

開始当初は授業への集中が難しく、席につこうとしないこともあったが、最終的に40分授業、10分休憩、40分授業という授業形態で落ち着いた。テストで徐々に点数が上がってきたこともあり、積極的に授業に臨むようになった。夏休み頃になると、学習という取り組みや、指導を行っているこちら側にも慣れてきたことで、騒がしい雰囲気になることが多くなってきた。生徒のその時の気分によって、授業に参加しないこともあったが、勉強することでの成果が点数などで表れると、それが勉強への積極性につながっていった。

苦手教科である英語への対策

英語の授業については、開始当初はとにかくアルファベットを覚えてもらうことを第一の目的として、40分間プリントを使って指導したり、ゲームを使ったりしてアルファベットや単語を覚えてさせた。だが、40分間集中力を持続させることは困難であったことと、アルファベットをしっかりと暗記できたことをきっかけに、その後は20分授業をして、残り20分はDVDを使って英語に親しんでもらうというような授業形式をとった。

2学期に入ると、DVD観賞20分、20分授業では、学校の授業速度に追いつかなくなったため、40分間のすべてを、プリントを使った問題演習や授業で理解できなかった教科書の本文の解説等を行うようにした。当初の生徒、3人の間で学習のレベルに開きが見られてきたので、できない子には復習・教科書中心の指導を、できる子には予習・問題演習中心の指導を行った。

○第2年次(2010年4月～2011年3月)

授業について

1年次の時と変わらず、毎週月曜日と木曜日の週2回、学習40分、10分休憩、40分学習という形で授業を行った。特に、数学と英語に焦点を当て、始めの40分で数学、次の40分で英語をするというのが一番多いパターンではあるが、日によって数学の代わりに理科や社会の復習を行った。テスト前にはテスト対策も適宜入れ、基本的には学校の授業とリンクさせる形で進めているが、数学は学校の予習をする形になることもある。3学期に入ると、数学も復習を多く行った。

また、この年に、これまで生徒数3人で学習を行ってきたが、そのうちの1人が親元に戻ることにになり、竹林翼君と坂本義樹君の2人での学習になった。2対3だったのが2対2になったことで、以前よりもそれぞれの子供に目が届くようになった。また、指導をする場所も事務所のすぐ近くで、普段は食事を取ったり、公文式をしったりするときに使っている広い部屋になった。園の先生方から見える場所での学習になり、緊張感も増すこととなった。

生徒の様子

翼君と義樹君の2人での学習となったが、学習の雰囲気はさほど変わらなかった。しかしながら、3人だったときには気にならなかったことが気になるようになりだして、それぞれに違うプリントや作業をさせると文句を言うようになった。なので、2人に違う作業をさせる理由の説明が必要となりだした。

また、義樹君の勉強に対する意欲が無くなりだし、学習の間、何もしないこともあるようになってきた。他の同級生たちが自由にしている時間に、なぜ、時間を設けられ、勉強しなければならないのか、という気持ちがあったようだった。

英語・数学への対策

<数学>

基本的に、数学に対して、2人とも、理解力が高い。しかし、計算問題は問題無いものの、文章問題になると途端にやる気をなくしてしまう。文章問題を苦手とするのは、原因として国語が苦手なことも挙げられるが、数学の文章問題に慣れてもらうため、問題文をかみ砕いて説明し、何を求めなければいけないかを理解できるようにした。

<英語>

英語は1人1人、苦手分野に特徴があったため、それぞれに違う指導を行った。

義樹君は、英語に対するやる気が極端に低いことと、学力を踏まえ、義樹くんは文法事項よりも、まずは教科書の単語や内容を理解させることを優先事項とした。やる気が少しでも出るように、フラッシュカードを使って単語の暗記をさせた。

翼君は文法事項を主にしながら、単語や教科書の内容確認も行った。しかしながら、翼君は、学習の時間は解けているのに、なぜかテストでの点数は低かった。これの原因としては、①1つ1つの文法事項は理解できているものの、テストで複数の文法事項が同時に出题されると混乱してしまう傾向があることと、②教科書の単語の暗記が十分ではないことが考えられた。よって①に対しては、毎回の授業でも1つの文法事項だけでなく、いくつか混ぜて学習することで慣れさせる、②に対しては文法事項適宜単語の復習をさせるようにした。

また、少しでも英語に興味を持ってもらうために、休憩時間に、各自の好きな漫画の英語版のものを用意し、それを読んで(見て)もらうことにした。

○第3年次(2011年4月～2012年3月)

授業について

今年度は高校受験の年ということで、内容も数学・英語だけでなく、理科、社会、国語など、受験に必要な5教科すべてに範囲を広げて行った。受験対策の問題などにも挑戦し、実戦のレベルを知るなどして、気持ちは受験に向けられていた。

授業は、基本的に1対1の個別指導で行った。翼君は学力が高く、学習姿勢にもムラが少ないため、出来るだけ本人の希望する教科、教材を使って指導し、休憩時間にも電子辞書に付属した漢字クイズに励むなどしていた。

義樹君は、数学以外の成績が芳しくなく、夏の間に得意教科の数学を中心に基礎固めし、翼君に少しでも追いつくことを心がけるようにした。ただし、義樹君は気分にもムラがあるため、時折授業が中断されることもあるので、これを回避するため、徹底的に褒めて伸ばす指導を行っていた。

さらに、学校で催された共通テストの解き直し、見直しも行った。また、週2回の、1時間30分授業では、受験に間に合わないかと判断したので、受験対策テキストを各自に渡し、宿題を与えるようにした。

生徒の様子

受験を控えているということで、2人の学習意欲も高くなった。夏休み頃には、義樹くんが英語や数学の文章問題に取り組むようになった。翼君も、わからない問題があると質問するようになった。1時間30分の時間いっぱい学習に集中し、従来あった休憩時間なども惜しんで学習していった。義樹君の受験が先に終わり、翼君の受験が残った形になると、義樹君は、一時期、学習に対してやる気を無くしていたが、後は素直にプリントに取り組むようになった。翼君は、義樹君のペースに飲まれることなく、彼なりのペースで勉強に取り組んだ。

受験結果

- ・翼君 → 私立 国府高校、県立 湧心館高校に合格、湧心館高校に進学
- ・義樹君 → 私立 中央高校に合格、進学

これまでの取り組みを経て

最初は席につかないという状況から始まり、徐々に学習に取り組むようになり、ついに高校生となる生徒たち。3年間、人は代わりながらも、彼らを見守れたことに大きな喜びを感じる。勉強面だけではなく、一個人として、こくわずかな時間でも、生徒たちが成長したなと感じる瞬間があった。この取り組みを通して、彼らに出会うことができ、成長を見届けることができたことは、学生生活の中でも貴重な体験だったと感じる。今後もこの経験を生かしていきたい。

